

## 第5節



参加と行動による、つながる

# 「しくみづくり」

- つながるしくみ
- 行財政改革
- 計画的な行政運営と広域連携



## 1 取組の背景

- 少子高齢化の進行，道路交通網の整備などによる行動圏・生活圏の拡大，家族のあり方の変化などにより，地域で人と人が触れ合う機会や共同作業に取り組むことが減少しています。こうした状況の中で，高齢者等の孤立化や社会意識の低下，地域づくり活動への関心度や参加率の低下といった多くの課題が生じています。
- 19の住民自治組織に代表される地縁型のつながりだけではなく，福祉，子育てなど，共通の関心や目的によって結びつく目的型の団体の様々な活動が，まちづくりを支えています。さらに，企業や事業所，学校などの団体，祭などのイベントや共通の趣味，社会や経済の制度，ICTなど，様々なつながりをもとにした活動が，地域で展開されています。
- 市政懇談会，車座対話，出前講座，SNS\*など，様々なチャンネルでの情報提供を行っていますが，職員一人ひとりと市民の対話は不十分であり，目的共有や市民参加の促進は未だ十分とは言えません。
- これまで，様々な都市機能を担う社会基盤の整備を進めてきました。これからは集積した機能を市民全体の財産として，どのように活用していくかが重要になります。
- 普通交付税は，市町村合併の特例による優遇措置を受けていますが，平成27年度から段階的に縮小され，平成32年度には終了することとなっており，縮小額は30数億円と見込まれます。これが現実のものとなれば，これまでどおりの財政運営，行政サービスの維持は極めて困難となります。

## 2 取組の方向性

- 「自分たちの地域のことは，自分たちで考えつくっていく」ために，地域の住民が身近なつながりを広げていく中で，主体的にまちづくりについて考え，行動し，課題を解決していける地域づくり，また，自ら考え行動できる人を増やし，育てることに取り組みます。
- 地域で住民が支え合えるコミュニティづくりに向け，地縁型や目的型の様々なコミュニティが，ともにまちづくりに取り組むネットワークをつくります。
- 協働のまちづくりを進めていくために，課題や目的を共有できるよう情報公開を積極的に進めます。市民等との対話の場の拡充や，市民が市政運営に参加するしくみづくりに，より一層取り組みます。また，「市が取り組むこと」「市民や住民自治組織や事業者等が主体的な活動によって取り組むこと」「協働によって取り組むこと」などをそれぞれが意識し，お互いが果たす役割を考え，協力し，補い合いながら，ともにまちづくりを進めます。
- 総合計画を着実に推進するため，行財政改革に取り組みます。未来の市民に夢を持てる地域を引き継ぎ，幸せな地域をつくるため，限られた資源を有効に使い，市民の力を引き出し，三次を誇りに思えるまちづくりを進めます。

- より効果的で効率的な行財政運営を進めるために、徹底した行財政改革による財政健全化、市民の期待にこたえる市役所づくりに取り組みます。
- 中国地方における地理的優位性を活かした都市機能の集積を図り、広域的な連携強化と機能分担により拠点性を高めます。また、近隣市町との連携により圏域の一体的な発展を図るとともに、県・国との適切な役割分担により、広域にまたがる住民サービスの効率的かつ効果的な提供に取り組みます。
- 人口減少の中でも、選択と重点化により、広大な市域の中で維持できる持続可能なインフラ<sup>※</sup>整備を行います。

**【施策の成果をはかるのに参考となる指標】**

指 標	現 状	平成35年度
まちづくりに参加している人の割合	55.6%	70.0%
(仮称)地縁者ネットワーク加入者数	-	2,000人
地域応援隊の設置	-	設置
プライマリーバランス <sup>※</sup>	黒字	黒字



### 3 具体的な取組

#### (1) つながるしくみ ～いろいろな人が意見を出し合えて、参加できる人輝くまち～

##### ア 一人ひとりの「参加」と「行動」

- まちづくり活動への理解と参加の促進
- まちづくりに関する情報提供と「つながる」場づくりの推進
- まちづくりボランティアや地域リーダーなどの育成の支援
- 「（仮称）地縁者ネットワーク」の構築と情報の交換

##### イ 住民自治の推進

- 住民自治組織と市との役割分担の検討
- 地域の特色を活かした住民自治活動の推進
- 市民団体や企業、地域出身者などの目的型コミュニティ等と住民自治組織との連携の強化

##### ウ 企業や市民団体、目的型コミュニティなどの支援・育成と連携の推進

- 目的型コミュニティの「つながる」場づくりの推進
- 多様な組織や団体と連携を進めるための調整・サポート機能の構築
- 住民自治組織をはじめとする地縁型コミュニティと目的型コミュニティとの連携や協働の推進

##### エ 対話と共感を大切に市民と協働するまちづくり

- 市民との対話を深め、市民の立場に立った行政サービスの推進
- 情報インフラを活用した幅広い対話の展開
- 的確でわかりやすい行政情報の発信
- 自主自立の地域づくり、特色あるまちづくりの支援
- 市職員による地域応援隊の設置
- 市職員の地域行事などへの積極的な参加の推進

#### 市民一人ひとりの「参加」と「行動」（例示）

- 目的を同じくする人、団体・サークルなどのネットワークをつくる
- 地域活動を盛り上げる
- 新しい人を受け入れる雰囲気をつくる など

(2) 行財政改革 ～未来の市民に夢を引き継ぐまち～

ア 社会の変化を的確につかんだ政策の選択と重点化

- 人口減少・少子高齢社会に挑戦する施策の重点化
- 女性が働きながら子育てできる環境づくりや高齢者の活躍の場づくりの推進
- 市民の力を引き出す、市民や地域が主役の地域づくりの推進
- 広域的な拠点性の維持・向上に向けた取組の強化

イ 効率的で安定した行財政基盤づくり

- 収益的事業の経営健全化
- 自主財源の確保と受益者負担等の適正化
- 経常経費の削減
- 事務事業のゼロからの見直し
- 投資的経費の選択と重点化
- 市有財産の徹底活用と整理、統合、廃止

ウ 市民の期待にこたえる市役所づくり

- 利用者の視点に立った窓口サービスの拡充
- スリムでフットワークのよい、行動する組織づくり
- 社会の変化や課題を的確につかみ、対話力があり、目的、方針を共有し、自立的に考え、機敏な行動ができる職員の育成
- 主要課題に迅速・重点的・総合的に対応できる庁内連携の強化
- 女性職員や若手職員、チャレンジ精神のある職員を活かし育てる組織風土づくり
- 職員の定員管理の徹底

市民一人ひとりの「参加」と「行動」(例示)

- 市の取組に関心を持ち、課題を点検する など

(3) 計画的な行政運営と広域連携 ～みんなとつながるまち～

- 計画を進行管理するしくみの構築
- 広域行政の推進
- 広域的な連携強化と機能分担

市民一人ひとりの「参加」と「行動」(例示)

- 市域を超えた枠組みで開催される行事に積極的に参加する など

## 第四章

### まちづくりの取組